

福島大学現代教養コース  
ビックブラックゼミナール

## 葛尾村斉藤里内応急仮設住宅プロジェクトⅡ

「復興」は、ここからはじめよう。



# 葛尾村応急仮設住宅プロジェクトとは？

## ○福島県「大学生の力を活かした集落復興支援調査事業」

大学生グループが福島県の過疎・中山間地域にある集落の実態調査を実施し、集落に応じた活性化策を提案することにより東日本大震災等の影響からの地域の復興や振興を目的とした事業。

## ○葛尾村斉藤里内応急仮設住宅(12月1日現在居住者)

県内避難者 7万6903人

仮設居住者 2万5084人

斉藤里内仮設居住者 118人

## ○ビックブラックゼミナール

福島大学現代教養コース+行政政策学類の学生 計53人

ゼミのテーマは、「偉大な革命家になろう！」私たちの社会が抱える課題をとりあげ、「お金」の力ではなく「人のつながり」がもつ力で、少しでもよりよい社会につなげるための活動と学びを創るゼミ。

## ⇒私たちの課題

原発災害による避難のため設置された応急仮設住宅での「復興」とは？

## ⇒1年目の取り組みから、2年目へ

1年目の成果を2年目の実証実験に生かす！

# 調査事業から実証実験へ

## —1年目の成果の確認—

応急仮設住宅における「復興」とは？...プロジェクトの開始にあたり直面した難問

世の中が考える復興

- 福島県にたくさんの人がある
- 福島県産の農産物が売れる
- 福島復興道路/復興支援道路      などよくわかる

しかし、それらは仮設住宅に住んでいる人(特に高齢者の方々)の日々の生活にとって「世の中が考える復興」とどんな関係があるのだろうか？



## 私たちの考える「復興」

仮設住宅に住む人たちが以前の葛尾村での日常生活を取り戻すこと

これが私たちのプロジェクトの原点！！

私たちの「復興」の原点は仮設にあり！  
復興は、まず仮設住宅からはじめよう！

原発事故や避難によって  
できなくなってしまったことを、再  
びできるようにしよう！



仮設住宅という困難な条件のなかで、どこまで可能か？  
そのお手伝いをするを私たちの課題にする

# 去年の活動

- 緑のカーテンプロジェクト
- 梅干しづくり
- お正月料理づくり
- アンケート調査



# 去年からの発展を求めて

活動はどう組み立てられるべきか？

- **農業(とそれにまつわる作業)を活動の中心に...**

農業は単なる作業ではなく、「生きがい」「個性」「コミュニケーション」「喜び」のきっかけ

- **仮設の高齢者は支援の「対象」ではなく、あくまで復興の「担い手」として.....**

自分でできることは、家族や集落の人のためなら、ぜひやりたい！

- **葛尾村の人々の日常生活のなかに潜む力を発揮してもらうことから始まるさらなる復興へ.....**

復興は仮設住宅の皆さんが「日常生活」を取り戻すことから始まる

復興は、ここ、仮設住宅からはじめよう。

# 二年目の実証実験へ！ 今年プロジェクトはこちら！

日常生活に潜む力を取りもどす試み

- 緑のカーテンプロジェクトパートⅡ（4月）
- 味噌づくり・梅干しづくりプロジェクト（3月/4月～8月）
- お正月料理&しめ縄作りプロジェクト（12月）

そして・・・○○柿○○り

# 緑のカーテンプロジェクト パートⅡ







# 味噌づくり・梅干しづくり プロジェクト



# お正月料理 & しめ縄づくり プロジェクト





# か～ら～の～？ ○○柿○○り

今年度オリジナル

干し柿づくり！！

12月7日にビックブラックゼミナール11人と  
葛尾村仮設の方々との共同作業！

格安でご提供いただいた渋柿420個(120<sup>キ</sup>。愛媛県産)を  
2人1組で20個ずつ干し柿へ加工しました！

Q.ここで質問です！

福島県庁の戸倉さん？

干し柿はどうやってできるか  
ご存じですか？

A. では、実際に私たちが干し柿を

つくっている様子を写真でご紹介します！









加工した柿は学生が自宅へ持ち帰り、干し柿になるまで各自大事に大事に見守ります！



1月には完成予定です！

仮設の皆さん！干し柿が完成したら一緒にいただきましょうね♪

# 私たちのプロジェクトの目的

- 農業(とそれにまつわる作業)を活動の中心に...

農業は単なる作業ではなく、「生きがい」「個性」  
「コミュニケーション」「喜び」のきっかけ

**達成！！**

- 仮設の高齢者は支援の「対象」ではなく、あくまで  
復興の「担い手」として.....

**達成！！**

自分でできることは、家族や集落の人のためなら、ぜひやりたい！

- 葛尾村の人々の日常生活のなかに潜む力を発揮  
してもらうことで、次のステップへ.....

日常生活に潜む力が少しずつ取り戻せつつある  
そこから始まるさらなる復興へ

**プロジェクトは次のステップへ！**

## 次のステップ...

葛尾村の人々の日常生活のなかに潜む力を発揮してもらふことで、「さらなる復興」につなげる.....



この目的をどう達成するのか？

- 私たちのプロジェクトが2年をかけて得た財産  
ありふれた葛尾村の日常生活が持つ力  
その力を活かして作った干し柿、梅干し、味噌



• この財産を「さらなる復興」に繋げるための取り組み

- ① 齊藤里内仮設ブランドの農産加工品販売
- ② 「葛尾御膳」のレストラン提供

# 齊藤里内仮設ブランド の農産加工品の販売

- 梅干し、干し柿の提供販売

干し柿が完成次第、試食会を実施

三春町内、福島市内の農産物直売所にて販売・試食

例 梅干し・梅干しを利用した加工品(梅ゼリー、梅ジュース)

干し柿・干し柿を利用した加工品(柿ジェラート、柿餅)

仮設の皆さん！商品が完成したら一緒にいただきましょうね♪

# 「葛尾御膳」

## のレストラン提供

- 干し柿、梅干し、味噌、餅をふんだんに使った「葛尾御膳」の構想中
- 福島市内の「かーちゃんふるさと農園わいわい」で提供決定！  
(3月を予定)



(イメージ写真)

仮設の皆さん！試作が完成したら一緒にいただきましょうね♪



# 終わりに...

プロジェクト代表

千葉隼輔（岩手県遠野市出身）

に語らせてください！

# 福島復興はまず……



斎藤里内仮設から  
はじめよう

Future From Saito-Satouchi

ご清聴ありがとうございました！